

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2006-169251(P2006-169251A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2005-362290(P2005-362290)

【国際特許分類】

C 07 C 67/307 (2006.01)

C 07 C 69/63 (2006.01)

C 07 B 53/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/307

C 07 C 69/63

C 07 B 53/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

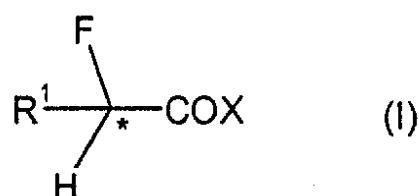
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(I)

【化1】



(式中、

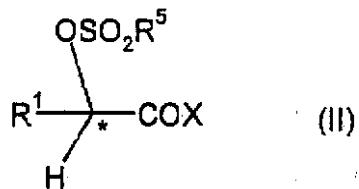
R¹は、場合により置換されたC₁~C₁₈-アルキル基、場合により置換されたC₄~C₂₄-アリール基もしくは場合により置換されたC₅~C₁₈-アリールアルキル基であり、

そして

Xは、ハロゲン、-N R² R³または-O R⁴であり、ここで、R²、R³およびR⁴はそれぞれ独立してHまたは場合により置換されたC₁~C₁₈-アルキル基、場合により置換されたC₄~C₂₄-アリール基もしくは場合により置換されたC₅~C₁₈-アリールアルキル基であり、またはR²およびR³は一緒になって場合により置換されたC₁~C₁₈-アルキレン基、場合により置換されたC₄~C₂₄-アリーレン基もしくは場合により置換されたC₅~C₁₈-アリールアルキレン基である)の、一方のエナンチオマーを他方より多く含む2-フルオロカルボン酸エステルを製造するにあたり、

一般式(II)

【化2】



(式中、

R^5 は、場合により置換された $C_1 \sim C_{18}$ - アルキル基、場合により置換された $C_4 \sim C_{24}$ - アリール基もしくは場合により置換された $C_5 \sim C_{18}$ - アリールアルキル基であり、そして

R^1 および X はそれぞれ一般式 (I) について定義されるものである) の、一方のエナンチオマーを他方より多く含むスルホン酸エステルに、少なくとも 1 のカルボキサミドを含む溶媒中で、少なくとも 1 のアルカリ金属フッ化物またはフッ化テトラアルキルアンモニウムを反応させることにより製造する方法であって、

一般式 (II) のスルホン酸エステルが最初に装入され、そして少なくとも 1 のアルカリ金属フッ化物またはフッ化テトラアルキルアンモニウムと少なくとも 1 のカルボキサミドとの混合物がその次に加えられることを特徴とする製造方法。